



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.768 2025.12.3

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

区政を一步前に

のの山けん区議代表質問 暮らし・教育に提案



エアコン助成制度 もっと使いやすく



東京ゼロエミポイントの拡充に上乗せする形で実施している北区独自の省エネエアコン購入費助成について、事前にお金を用意しなくてもよい制度へと改善し、来年4月以降も継続するよう求めました。

新たな家賃助成 制度の創設を



東京に集中するタワマン再開発によって民間住宅家賃が急騰しています。先行区でも実施されているファミリー世帯や多子世帯、低所得・中堅所得層などを対象とした新たな家賃助成制度の創設を求めました。

性教育出前授業 全中学校で実施を



学校での包括的性教育の必要性が高まる中、産婦人科の講師を招へいして毎年数校ずつで実施されている中学校での性教育出前授業。新年度は必要な人材を確保して中学校全校で実施することを求めました。

電磁波の被害から 児童・生徒を守れ



区内小中学校では、タブレット端末「きたコン」を使ったICT授業が行われています。電磁波過敏症の児童・生徒などが健康被害に遭わないよう、授業時間以外はWi-Fiの電源をオフにするよう求めました。



講演する谷川智行政策副委員長

日本共産党とともに 新しい政治をひらく集い

11月24日、北とぴあで「日本共産党とともに新しい政治をひらく集い」を開催。医師でもある谷川智行政策副委員長が、医療・暮らし、平和・外交、ニューヨーク市長選挙での民主的社会主義陣営の躍進などについて講演し、参加者からの質問にも答えました。(のの山けん)

不登校の子どもへの 親身な支援を

宇都宮ゆり議員



全国の小中学校での不登校児童・生徒は35万人と過去最多となり、北区においても、昨年度は小学校243名、中学校309名と増加しています。

すでに北区が着手している不登校の子どもや保護者の不安を軽減し、教職員にも役立つハンドブックの作成を促進するとともに、小学校33校中3校、中学校

全12校で実施している校内別室を、さらに拡充するよう求めました。

さらに、文教委員会で管外視察した長野市の教育支援センター「SaSaLaND」の取り組みを紹介し、オンラインの居場所とリアルな居場所を結び、共有を図る仕組みづくりを、近隣の大学とも連携して勧めることを提案しました。

コミュニティバスの 改善・本格運行を

ながいともこ議員



コミュニティバス浮間ルートは、2024年3月に試験運行を開始し、昨年度の利用者は29万人、今年度は前年同月に比べ1.5倍に増加しています。

実績をふまえ来年度からは本格運行とするよう求めた質問に対し、区は「本格運行への移行に必要な収支率50%の達成は可能だと見込んでいる」と答えました。

一方で、東京北医療センターから赤羽駅間で混み合う時間帯があり、混雑解消を求める声や、赤羽発18時台の3便の終点が東京北医療センターとなっており、浮間地域まで延伸を求める声が利用者から寄せられていることを紹介し、これらの対策を講じることや、運転手不足の解消に万全を期すよう求めました。

広島・長崎への 中学生派遣事業を

企画総務委員会で陳情趣旨採択

2日の企画総務委員会で、北区平和都市宣言40周年にあたり平和事業の拡充を求める陳情の審査が行われ、2026年度以降、広島・長崎への中学生派遣事業を行い、区民にその報告をする機会を作るよう求める項目が「趣旨採択」となりました。(のの山けん)